

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設	七沢森林公園
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

A

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > 七沢森林公園は、市街地に近いが、森林の中をゆっくり散策できる緑豊かな里山公園である。約60種のシャクナゲが咲く「シャクナゲ園」、工芸体験ができる「森のアトリエ」、バーベキューが楽しめる「ピクニック広場」、山里の暮らしが分かる「森の民話館」が人気の施設である。「ゼロエミッションへの取組みによる植物管理」として、公園の間伐材を、土留柵や野外料理イベントの薪に用いている他、間伐材を炭焼窯で焼き、炭を年間約7,300kg生産し、バーベキューの燃料として100%まかない、トイレの消臭剤にも活用している。炭焼時に出る木酢液は、園路に散布し、ヤマビル駆除に活用するなど、この公園独自の工夫を行っている。相当の努力をしており、大きな成果を上げている。また、地域と連携したイベントを開催している点、落葉掻き等の努力によりヤマビル被害を軽減している点が評価できる。</p> <p>< 2 収支状況 > 老朽化が進む設備・備品等の点検を重点的に行い、積極的な修繕及び備品更新により利用者サービスの向上に努めたこと、徹底した節電の実施による経費の節減等に努めており、対収支計画比で収支差額を1.9%としており、上記取組みを実施しつつも良好な収支状況である。</p> <p>< 3 利用状況 > < 4 利用者の満足度 > 施設の魅力向上のため、提案に基づき植物管理や施設管理を精力的に行い、魅力的な運営を行っているため、利用者の満足度(上位2段階の割合)が97%と高い。利用者数も大雪の影響があったが、目標を上回り112%となっている。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > < 6 事故・不祥事等 > 以上のように利用者の視点に立った、提案を上回る優れた取組みを実施し、広報活動にも積極的に取り組むことにより公園の魅力向上が図られており、苦情・事故等の対応状況も良好であることからA評価として評価できる。</p> <p>< 今後の方針等 > 今後は、公園管理の基本となる着実・丁寧な植物管理や施設管理を継続するとともに、利用者のニーズに対応した地域イベントの実施を強化する等、更なる利用者の獲得に努めてもらいたい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価 **A**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	<p>快適な利用環境の確保・施設全般の安全管理 植物管理を以下のとおり実施する ・シャクナゲ管理 ・高木管理 施設管理を以下のとおり実施する ・日常巡視（園内全域：毎日：公園職員） ・施設点検パトロール（園内全域：年1回：公園職員） ・重点点検（重点個所：随時：公園職員） ・遊具安全点検（遊具：月1回以上：公園職員） ・遊具定期点検（遊具：年1回：専門業者） ・各施設・法定点検（各施設：各施設ごと：公園職員または専門業者）</p>	<p>①植物管理 ・シャクナゲ維持のため、日陰要因の木を伐採した。 ・枯葉や折枝の除去、倒木の恐れのある木の伐採をこまめに行っている。 ・広場等の芝刈りや園路沿いの草刈りを丁寧に行った。</p> <p>②施設管理 ・点在した施設の管理が行き届いており、満足度が高い。 ・点検を着実に実施し、危険個所を発見した場合は迅速に対応しており、利用者の安全確保が図られている。 ・大雪の除雪作業や閉園等の広報に精力的に取り組んだ。</p>

	提案内容	実施状況等
2 (自主事業)	ゼロエミッションへの取り組みによる植物管理 公園内の間伐材等を用いて、以下を実施する。 ①園内整備への活用 ②間伐材を炭にして、バーベキューやトイレの消臭材等に活用 ③薪を使った野外料理イベントを開催 ④木酢液をヤマビル対策へ活用 ⑤落ち葉を集積し、カブトムシ等の生息場所の創出	園内の発生材はすべて園内処理しており、徹底した循環型管理が、公園独自の特色となっている。 ①森林整備により発生した間伐材は、職員が製材して土留め板、ベンチ、クラフト材料にし、枝はチップ化して整地に活用するなど、園内整備に使用している。 ②指定管理者が炭焼窯を作成し、炭を年間約7,300kg生産し、バーベキューの燃料を100%まかなっており、トイレの消臭剤や土壌改良材としても活用している。 ③月2回、薪を用いた野外クッキングを実施している。 ④炭焼で生ずる木酢液を園路に散布し、ヤマビル対策に活用している。⑤6カ所に堆肥ボックスを設置して、落ち葉を集約し、昆虫の生息場所を創出している。
3 (自主事業)	イベントや住民参加、ボランティア団体による協働の取り組み ①森のまつり ②里山保全、健康作り、自然体験、 ③自然音楽、文化継承 ④美化運動 ⑤七沢温泉郷と連携した、観光資源の創出。	①11月3日に参加者約18,000名で草笛、カサノコ演奏やフェンソーアート、縄文土器野焼き、野外クッキング等を行い盛況であった。 ②里山保全の森林管理を、地元ボランティア団体と実施し、NPO団体との協働でルネッサンスワーク教室等を実施した。 ③玉川アルプホルンクラブと協働で演奏会を実施し、民話の語りやわらべ唄による文化継承を実施した。 ④落葉清掃を地元保育園と、資源ゴミ集めを地元の施設と協働で実施した。 ⑤バーベキュー利用者などに七沢温泉郷の日帰入浴割引券を配布し、七沢温泉宿泊者には、バーベキュー割引券等を配布した。 ⑥陶芸、楽焼、盆栽、押し花、木工、クラフト、門松作り教室、自然観察会等多くの自主イベントの実施している。
4 (自主事業)	楽しく快適な利用環境の確保 園路やおおやま広場などの芝生にもヤマビルの進入があるため、以下を実施する。 ①芝刈り等の徹底による乾燥状態の確保。 ②園路等への忌避剤の散布。 ③利用者に対する忌避剤の提供。 ④その他	次の対策により、ヤマビル被害が24年度の83名に対し、25年度は44名に減少した。 ①ヤマビルの生息しにくい乾燥状態を確保するため、芝刈り、草刈り、落ち葉掻きを徹底して行った。 落ち葉掻きは市シルバー人材センターに委託した。 ②園路等に、木酢液などのヤマビルの忌避剤を散布した。 ③ヤマビルの注意看板を設置し、13カ所に忌避剤として食塩と食酢を置いた。 ④指定管理者の全面的な協力の下、厚木土木事務所がヤマビル増加の原因であるシカとイノシシの捕獲を行い、上半期7頭、下半期13頭、計20頭を捕獲した。
5 (自主事業)	利用促進のための広報の取り組み ①ホームページの改編と更新 ②園内掲示板 ③パンフレット ④厚木市公報 ⑤観光協会等との連携 ⑥緊急時位置確認板の設置	①見やすく分かりやすいホームページに改編し、常時更新した。七沢森林公園サイトおよび公園協会サイトで公園情報や季節の見頃・見所情報をタイムリーに発信した。 ②園内の掲示板で、森のアトリエの体験案内やイベント情報などを掲示した。事務所前のホワイトボード等で、花や鳥など旬の自然がわかるようにした。 ③④⑤パンフレット類を最新情報に改訂し、厚木市や地元観光協会等に配布した。 ⑥園内40箇所に、緊急時の連絡先と位置が分かる地図を記した看板を新設した。利用者に好評で、役立っている。

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月10日	11月28日	○	○	○	無	
11月	12月10日	12月25日	○	○	○	無	
12月	1月10日	1月23日	○	○	○	無	
1月	2月10日	2月27日	○	○	○	無	
2月	3月10日	3月20日	○	○	○	無	
3月	4月10日	4月18日	○	○	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月 10 日まで

2 収支状況

評価 B

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		76,610	0	4,574	81,184	81,184	0	0
年度計画	前年度	74,220	0	4,750	78,970	78,970	0	0
	上半期	36,112		3,430	39,542	39,542		0
	下半期	38,108		1,320	39,428	39,428		0
	今年度	74,220	0	5,000	79,220	79,220	0	0
	上半期	36,045		3,550	39,595	39,595		0
	下半期	38,175		1,450	39,625	39,625		0
上半期合計		36,045		3,189	39,234	37,561		1,673
対収支計画比		0.0%		▲ 10.2%	① ▲ 0.9%	② ▲ 5.1%	③	4.2%
通年実績	10月	5,931		404	6,335	5,955		380
	11月	5,550		600	6,150	7,112		▲ 962
	12月	8,219		0	8,219	7,271		948
	1月	5,303		0	5,303	5,056		247
	2月	5,994		0	5,994	6,067		▲ 73
	3月	7,178		0	7,178	7,857		▲ 679
	下半期合計	38,175	0	1,004	39,179	39,318	0	▲ 139
	対収支計画比	0.0%		▲ 30.8%	① ▲ 1.1%	② ▲ 0.8%	③	▲ 0.4%
	通年合計	74,220	0	4,193	78,413	76,879	0	1,534
	対収支計画比	0.0%		▲ 16.1%	① ▲ 1.0%	② ▲ 3.0%	③	1.9%
参考	前年度 下半期実績合計	38,108		1,168	39,276	38,342		934
	対前年度 下半期実績比				▲ 0.2%	2.5%		

※その他収入の内容 駐車場収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	該当なし
③ 収支差額のマイナス（収支計画収支差額対比）	×	○	×	駐車場収入が、計画より減少したことが原因であるが、-0.4%と収支差額はほぼ0である。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	7,394	大雨による南西部の斜面崩落箇所の修繕工事(7,394千円)
下半期	4,217	土留柵(2,421千円)や転落防止柵(1,796千円)の老朽化による修繕工事
合計	11,611	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 A

(評価の目安)

今年度下半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

目標利用者数等を設定していない
場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定
員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	19,007 人	24,290 人	78.3 %
11月	40,412 人	43,471 人	93.0 %
12月	14,271 人	16,144 人	88.4 %
1月	16,474 人	18,541 人	88.9 %
2月	10,321 人	19,529 人	52.9 %
3月	18,755 人	22,781 人	82.3 %
合計	119,240 人	144,756 人	82.4 %

	利用者数	前年同期 利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	119,240 人	144,756 人	107,000 人	① 111.5 %	② 82.4 %
上半期計	139,331 人	129,158 人	118,000 人	① 118.1 %	② 107.9 %
合計	258,571 人	273,914 人	225,000 人	① 115.0 %	② 94.4 %

※目標値の設定の有無

	設定している		
期間	半期ごと	その他の場合の期間	
基準	過去数年間平均	その他の場合の基準	

利用状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	○	○	魅力ある公園施設整備を進めたことと、広報の努力が実を結んでいるため。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	○	○	○	2月に2度記録的な積雪があり、閉園、除雪作業、足場の悪さ等から、来園者が激減した。

<参考>

施設の最大利用可能人数

	駐車場						合計
定員(1日あたりの延べ人数)	206						206
年間利用可能日数	365						
最大人数	75,190	0	0	0	0	0	75,190
半期	37,595	0	0	0	0	0	37,595

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 A

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても 良い	良い	普通	悪い	とても 悪い	合計	上位2段階 の割合
総合満足度の回 答結果	21	20	0	0	0	41	41 (100.0%)
[参考] 上半期結果	56	18	0	0	0	74	74 (100.0%)

※今年度の実施予定

上半期 6 回

下半期 4 回

その他

※配布・回収件数

配布 41 件

回収 41 件

回収率 100.0% %

※実施方法

利用者等に配布

5 苦情・要望等

評価 A

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	0	0	0	0	8	8
下段：報告件数のうち所管 課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
[参考] 上半期結果	0	0	0	0	0	0
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

苦情・要望等への対応

該当なし

※ 以下のとおり、アンケートで積極的に要望等を把握し改善を行う等、サービス向上を図った。

分野	概要	対応状況
施設・設備	駐車場のタイルが少し危険。	滑りやすい所に注意看板を設置した。
	楽焼き体験場所に行くのが大変だった。	案内図を増やす方向で、検討している。
職員対応		
事業内容	ヒツパダゴを日当たりの良い所へ移植して欲しい。	麻布で水分の発散を防止し、周囲の高木を枝落としし日当たりを良くした。
その他	ヤマビル被害対策を強化して欲しい。	通常対策を強化し、注意看板を増設した。

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価

B

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
 B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
 C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
 : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
 D

発生状況及び対応状況

該当あり

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
12月27日	利用者が転倒して腕を骨折した。	階段で滑って転んだ。落ち葉等で滑りやすくなっていた。	被害者の要請に応じ、タクシーを呼び、近くの病院を紹介した。その後、落ち葉等の清掃を行い、注意看板を設置した。
1月2日	深夜、下草が燃える小規模な山火が発生した。	消防署の現場検証では、付近のベンチにたばこの吸殻があったので、たばこの火の不始末と想定された。	関係機関へ迅速に報告し、職員が緊急参集し、消防署の消火活動を支援した。その後、現場を片づけ、注意看板を設置した。

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		